

授業に必要なICTシステムの概要

情報基盤センター 田浦健次郎

前回

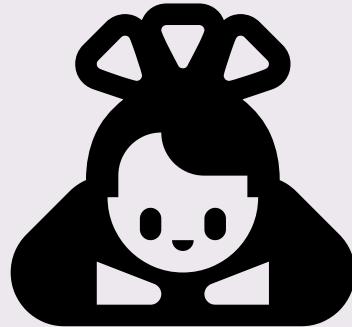
概要



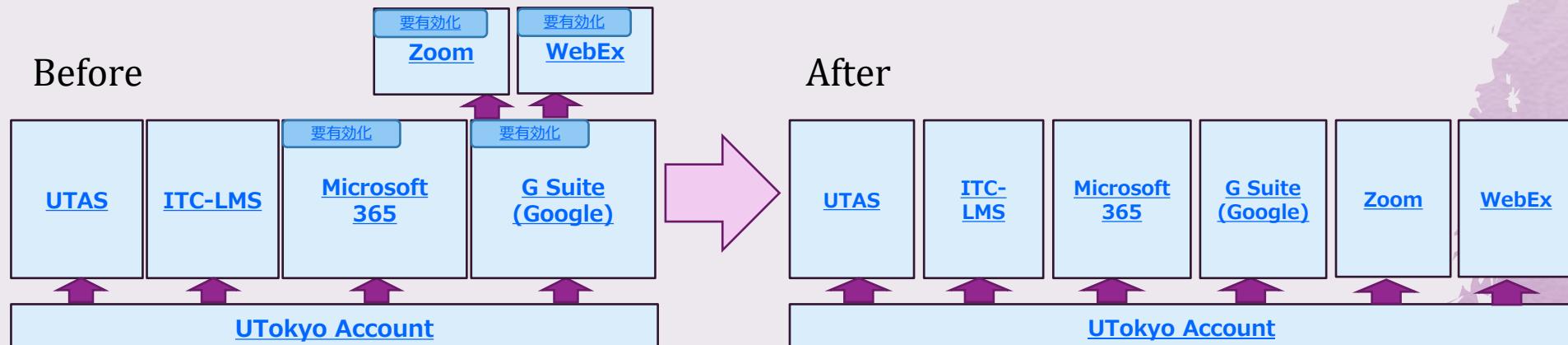
UTokyo Account: 個人に付与される大学アカウント(数字10桁)

Q. ややこしすぎませんか?

- ◆ はい



- ◆ 改善（アカウントの統一・連携）に向けた努力をしています



今日の状況

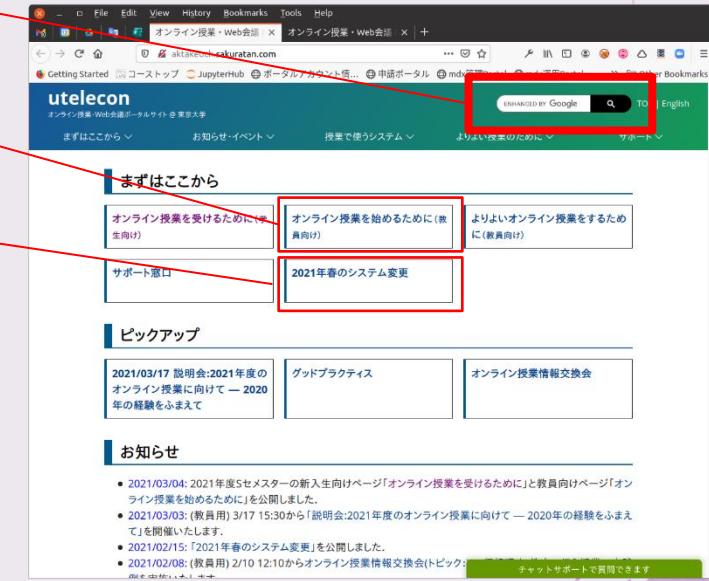
- ◆ Google以外はUTokyo Accountだけで使える
- ◆ = 認証の統一・連携（シングルサインオン、Single Sign-On, SSO）



疑問?

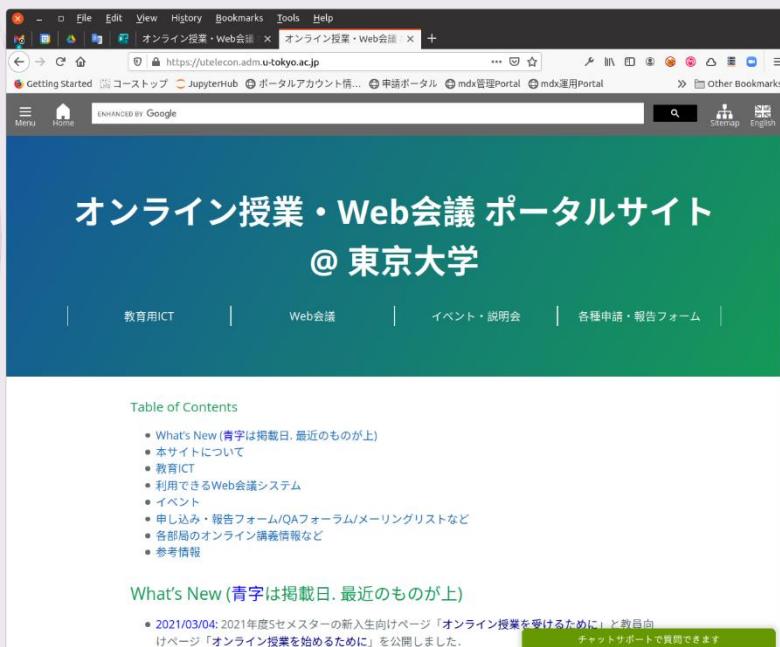
⇒まずはuteleconをご覧ください

- ◆ 様々な情報を <https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/>へ集約しています
 - ◆ 注: utelecon.github.io (なお有効) から改名
- ◆ 特定の疑問は検索ボックスで
- ◆ 初めての先生必見
- ◆ 2021春の変更点



見た目も刷新されています

T氏(50代男性)によるテンプレートを選んだだけのデザイン



オンライン授業・Web会議 ポータルサイト
@ 東京大学

教育用ICT | Web会議 | イベント・説明会 | 各種申請・報告フォーム

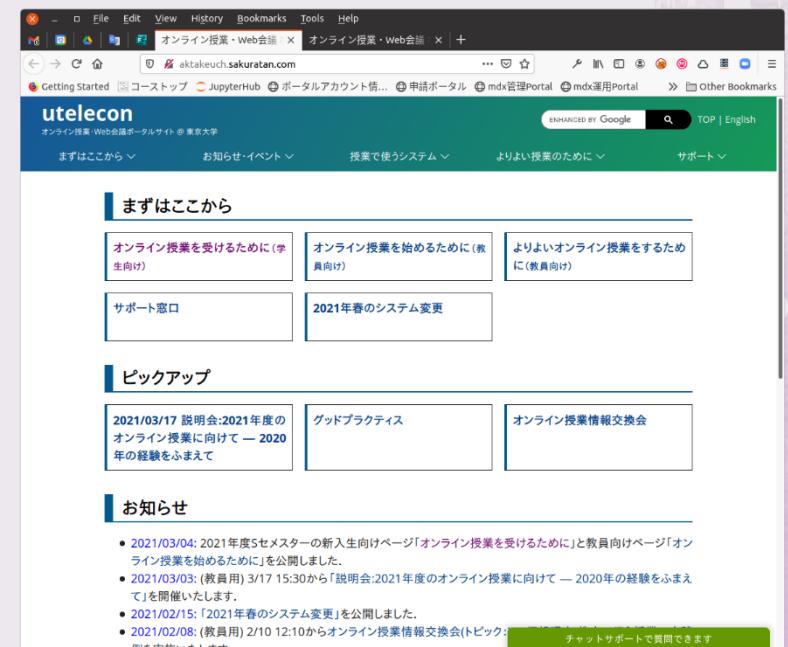
Table of Contents

- What's New (青字は掲載日、最近のものが上)
- 本サイトについて
- 教育ICT
- 利用できるWeb会議システム
- イベント
- 申し込み・報告フォーム/QAフォーラム/メーリングリストなど
- 各部局のオンライン講義情報など
- 参考情報

What's New (青字は掲載日、最近のものが上)

2021/03/04: 2021年度5セメスターの新入生向けページ「オンライン授業を受けるために」と教員向けページ「オンライン授業を始めるために」を公開しました。

20代学生によるデザイン



まずはここから

オンライン授業を受けるために(学生向け) | オンライン授業を始めるために(教員向け) | よりよいオンライン授業をするために(教員向け)

サポート窓口 | 2021年春のシステム変更

ピックアップ

2021/03/17 説明会:2021年度のオンライン授業に向けて — 2020年の経験をふまえて | グッドプラクティス | オンライン授業情報交換会

お知らせ

2021/03/04: 2021年度5セメスターの新入生向けページ「オンライン授業を受けるために」と教員向けページ「オンライン授業を始めるために」を公開しました。
2021/03/03: (教員用) 3/17 15:30から「説明会:2021年度のオンライン授業に向けて — 2020年の経験をふまえて」を開催いたします。
2021/02/15: 「2021年春のシステム変更」を公開しました。
2021/02/08: (教員用) 2/10 12:10からオンライン授業情報交換会(トピック: チャットサポートで質問できます)

質問? サポート窓口

- ◆ チャット, フォーム, フォーラムで質問できます
- ◆ 学生サポートの協力を得ています
 - ◆ 内容上, 学生への相談が適切でない場合, フォームで「教職員による対応希望」にチェック (※)
- ◆ 従来のメール窓口 (utelecon-inquiries) は徐々に不要になることを狙っていますが対応は続けます
 - ◆ これまで教職員のみの対応でした
 - ◆ 以降は内容から見て適切と判断した場合学生サポートへ転送します
 - ◆ 教職員のみ対応を希望の場合はフォーム (※) をご利用ください

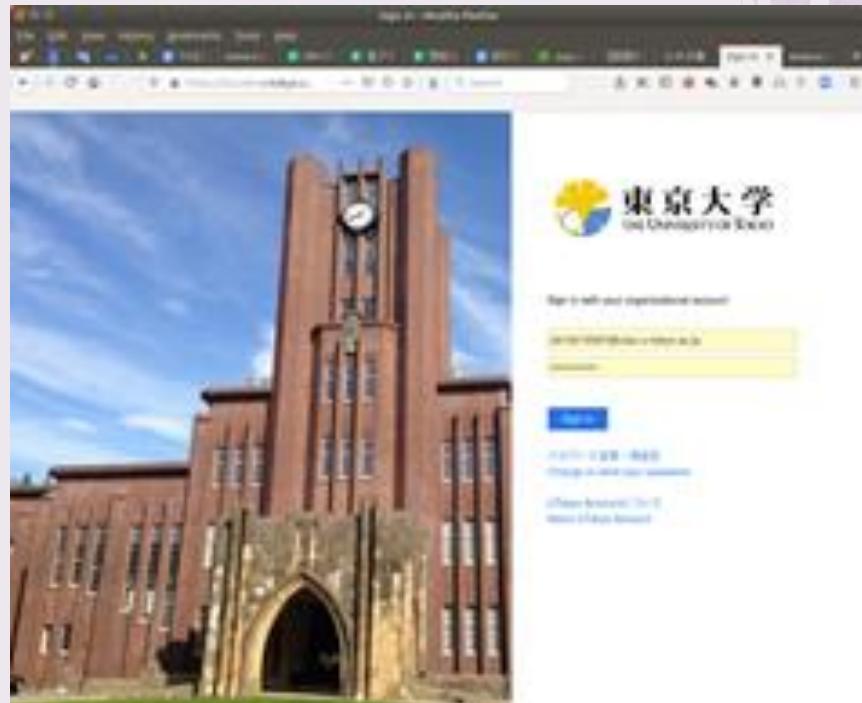


以降の内容

- ◆ UTokyo Account
- ◆ UTASとITC-LMS
- ◆ ZoomとWebEx（オンライン会議）
- ◆ Microsoft 365とGoogle Workspace

UTokyo Account

- ◆ 「はじめにUTokyo Accountありき」
- ◆ どこかにサインインしようとしてこの画面になつたらそれはUTokyo Accountでサインイン（SSO）しようとしている印
- ◆ 通称「安田講堂」
 - ◆ — 画面
 - ◆ — に飛ばされる
 - ◆ スマホだと安田講堂の絵は出ませんが



UTokyo Accountの正体(1)

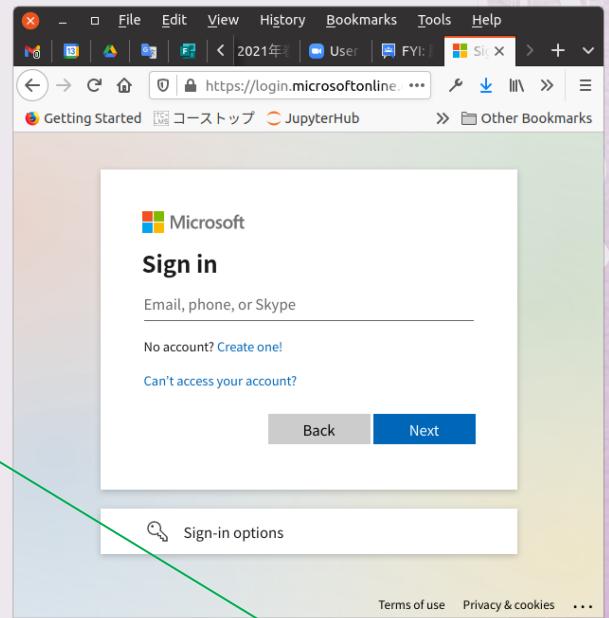
◆ 数字10桁です

- ◆ 2519285617 みたいな
- ◆ 10桁は常勤教職員の場合、職員証に書かれています



UTokyo Accountの正体(2)

- ◆ 一応覚えておいてください: 正式には
 - ◆ 10桁@utac.u-tokyo.ac.jp
- ◆ @以降が必要なとき
 - ◆ Microsoftのような、「東大外も対象のサービス」にサインインするときのように「自分は東大のアカウントを使います」と明示しなくてはならないとき



ちなみにutokyo accountの略

非常勤の場合

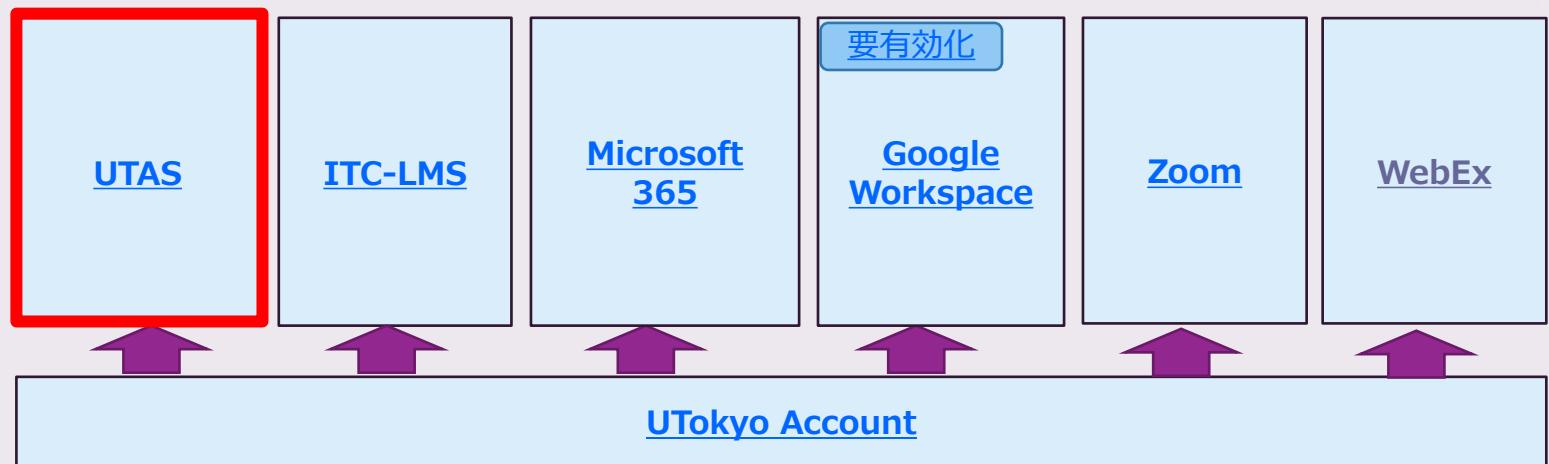
- ◆ 常勤・非常勤問わず、授業に必要ならば割り当てるのが基本です
- ◆ 非常勤（又はアレンジご担当）の先生へ：必要なのに割り当てられていないということがあつたら、事務へご連絡ください
 - ◆ 必要な例：シラバス登録、成績をつける、LMSで課題を出す、Zoom授業をホストする、etc.
 - ◆ 不必要な例：ホストの先生に招かれてゲスト講演をする（だけ）
- ◆ 専攻・部局事務のみなさま：必要な先生には割り当てるようお願いします

新入生への発行

◆ 研究科・専攻事務の皆様

- ◆ 4月からの新入生がUTAS, ITC-LMS, Zoomなどの利用準備ができるよう、UTokyo Accountの早めの発行をお願いします
- ◆ 年次処理とは別に、新入生の学籍データを作成の部局等は早急に作成いただき、UTokyo Accountの発行作業を進めてください。
- ◆ 新学部1年生には3/19あてに発出予定

UTAS





UTAS

- ◆ 学務システム
- ◆ ログイン
 - ◆ <https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/>
 - ◆ UTokyo Account
- ◆ 教員
 - ◆ シラバス登録
 - ◆ 成績登録
- ◆ 学生
 - ◆ シラバス検索・閲覧
 - ◆ 履修登録
 - ◆ 成績確認



The screenshot shows the UTAS homepage in Mozilla Firefox. The URL in the address bar is <https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/>. The page features the UTAS logo and navigation links for HOME, Student Information, Calendar, Grade/Exam Record, Grade/Exam Record, Syllabus, Survey, Questionnaire, Bulletin Board, and Other Services. A sidebar on the left provides news and announcements, and a central column displays a calendar for March 2020. A message at the bottom right informs users about automatic logout after 30 minutes of inactivity.

ITC-LMS





ITC-LMS

- ◆ 学習管理システム
- ◆ ログイン
 - ◆ <https://itc-lms.ecc.u-tokyo.ac.jp/>
 - ◆ UTokyo Account で
- ◆ 機能
 - ◆ 出席管理
 - ◆ 学生と教員、学生同士のやり取り
 - ◆ 課題を出してレポート回収
 - ◆ テスト
 - ◆ 授業URLを知らせる
- ◆ 詳しくはChapter 3 (柴山) で



時限	月	火	水	木	金	土
1限						
2限	プログラミング言語 田浦 健次郎		初年次ゼミナール理科 田浦 健次郎			
3限						
4限						
5限						
6限						
7限						

2020年03月09日 AM3時 時点の内容です。
体調情報等についてはUTASを参照してください。

そもそもLMSとは

- ◆ 一般にLMS（学習管理システム）は以下のような、これがないと意外に面倒なことをやってくれるシステム
 - ◆ クラスのメンバーと連絡を取る
 - ◆ クラスのメンバーにファイル（課題など）を配る
 - ◆ クラスのメンバーからファイル（レポート提出など）を受け取る
 - ◆ 課題の提出状況一覧を見る
- ◆ ITC-LMSではクラスのメンバーの登録も、教員がやる必要がない（履修学生を登録してくれる）

UTASとITC-LMSが両方あるのはわ かりにくいのでは?

- ◆ はい 
- ◆ 今のところは以下のような区別とお考え下さい...
- ◆ **UTAS** : 学期前、学期後の処理
 - ◆ シラバス登録、成績登録
- ◆ **ITC-LMS** : 学期（授業）中の支援
 - ◆ 出席、レポート回収、etc.
- ◆ 覚え方、方便であって分かれていることを正当化しているのではありません

Microsoft 365





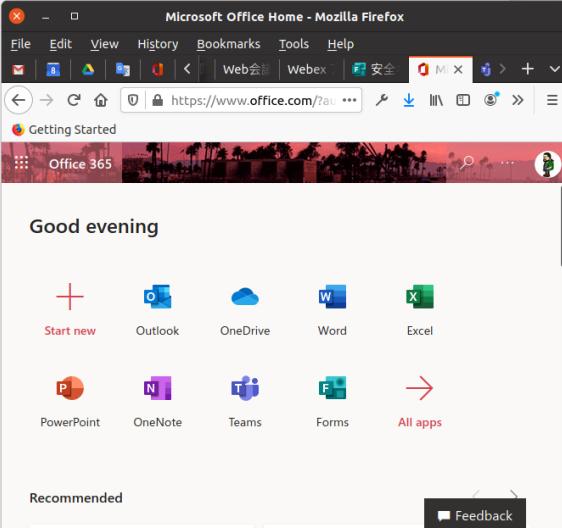
Microsoft 365

◆ サインイン (以前必要だった有効化は不要)

- ◆ <https://www.office.com/>
- ◆ UTokyo AccountでSSO

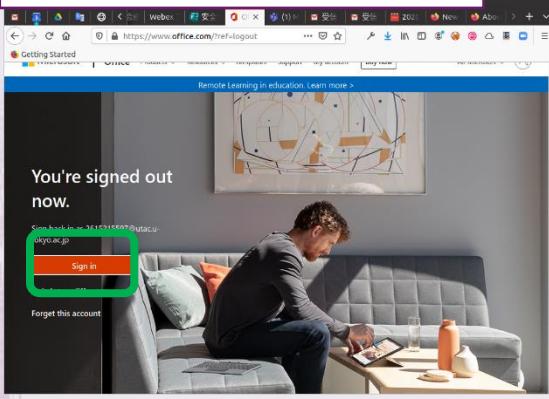
◆ 機能

- ◆ ファイル共有: OneDrive
- ◆ 文書作成: Word, Excel, PowerPoint
- ◆ アンケート: Forms
- ◆ Web会議, chat, etc.: Teams
- ◆ LMS的機能: Class Notebook



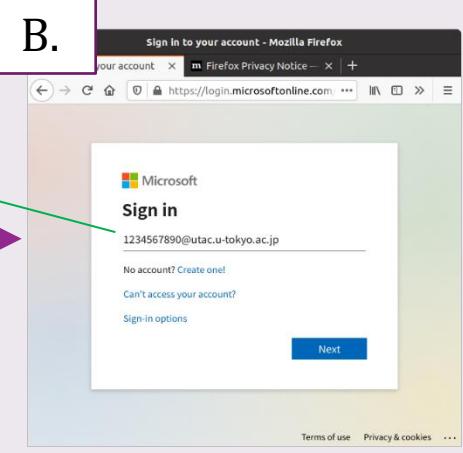
Microsoftサインイン全パターン

A. (www.office.com)



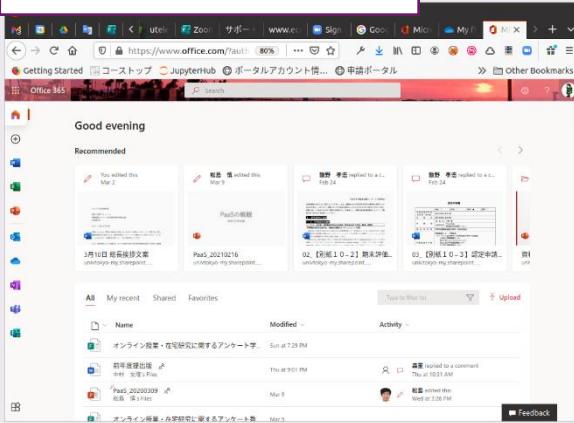
入力: ...@utac.u-tokyo.ac.jp
(所属機関を明示)

B.



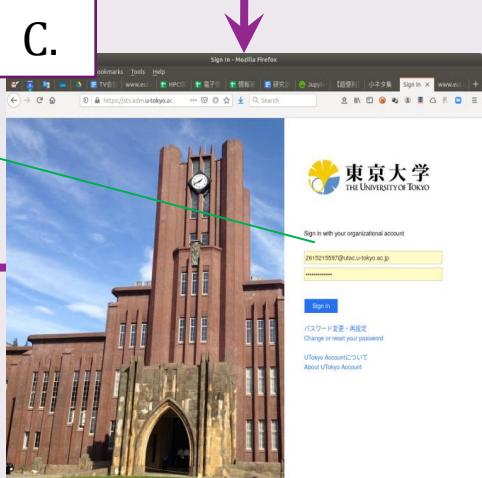
(状態によりB, Cがスキップ)

D. (sign in成功)



入力: UTokyo Account名、
パスワード

C.

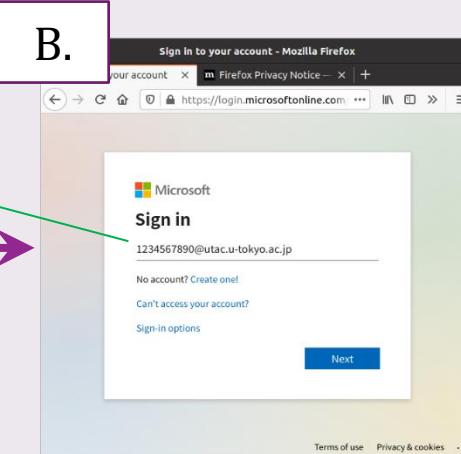


Zoomでも似たパターンが出てきます これはSSOする際の共通パターン

A. スタート

入力: <https://目的ページ/>

入力: ...@utac.u-tokyo.ac.jp
(所属組織を明示)

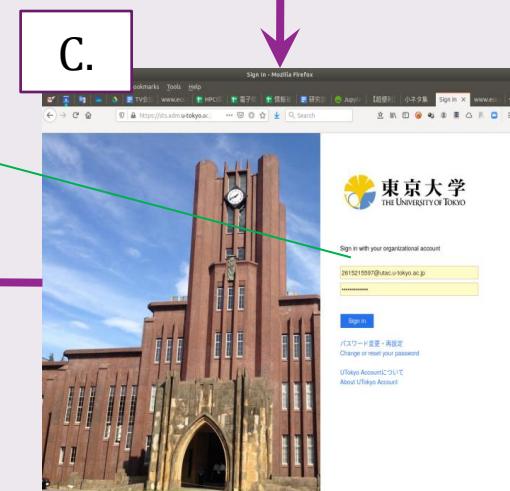


(状態によりB, Cがスキップ)

D. (sign in成功)

目的ページ

入力: UTokyo Account
名、パスワード



Google Workspace





Google Workspace

- ◆ Google Workspace ≈ 組織契約するGoogleサービス
 - ◆ 旧称 G Suite
- ◆ 本学が契約しているGoogle Workspace = ECCSクラウドメール
 - ◆ 様々なアプリが含まれるので〇〇メールという呼び方はやや誤解を招く 
- ◆ 有効化（初めての方）、パスワード変更
 - ◆ <https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/oc/#google>
- ◆ サインイン
 - ◆ 方法1: 普通のGoogleページでアカウント名 xxxx@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
 - ◆ 方法2: 専用サインインページ<https://mail.google.com/a/g.ecc.u-tokyo.ac.jp>



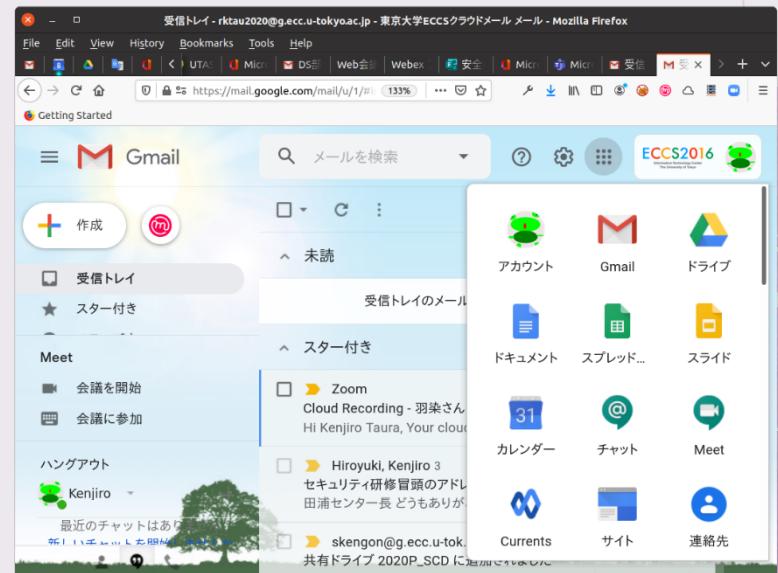
Google Workspaceサインイン時の罠

- ◆ 有効化してから実際にサインイン可能になるまで少々 (**最大1時間**) お待ちください
 - ◆ 正確には、毎時 (00分) に有効化がGoogleのシステムに反映されます



Google Workspace機能

- ◆ ファイル共有: Google Drive
- ◆ 文書作成: Google Document, Spreadsheet, Presentation
- ◆ アンケート: Google フォーム
- ◆ Web会議: Google Meet
- ◆ LMS的機能: Google Classroom



M と G 整理

	M社	G社
ファイル共有	OneDrive	Google Drive
オフィス系ソフト	Word, Excel, PowerPoint	Google ドキュメント、スプレッドシート、スライド
Web会議	Teams (教職員のみ)	Google Meet
アンケート・クイズ	MS Forms	Google Form
LMS相当機能	Class Notebook	Google Classroom
本学アカウント	10桁@utac.u-tokyo.ac.jp	文字列@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

- ◆ 知つておくべき大きな違いはGoogleサービスが中国からアクセスできないこと

MとG大学組織契約の存在価値

- ◆ 大学内の不特定多数の人と情報を共有
- ◆ ファイル共有を安全に、うまく使えば授業以外の業務効率化もできます
 - ◆ 共有範囲
 - ◆ 特定の人を名指して共有
 - ◆ 組織内なら誰でも
 - ◆ 誰でも
 - ◆ 検索で見つかるか否か (Google)
 - ◆ ダウンロード可・不可

安全な情報共有のために(1)

- ◆ スマホがある人は: 2要素認証設定
 - ◆ Googleにサインイン→Googleアカウントを管理→セキュリティ
 - ◆ Microsoft, UTokyo Accountは現在できませんができるように準備中です
- ◆ 常に「リンクを共有」ではなく「特定の人とのみ共有」が使える場面では使う(少人数)

安全な情報共有のために(2)

◆ 在宅勤務のPC利用ガイド

Zoom



Zoom

◆ サインイン

- ◆ この度UTokyo AccountでSSOできるようになった
 - ◆ 簡略化が狙いですが、後述の理由で混乱を招いているケースもあります
- ## ◆ 以下ではそれは一旦さておき、10桁@utac.u-tokyo.ac.jpでのサインイン方法を説明します

Zoomサインイン方法1

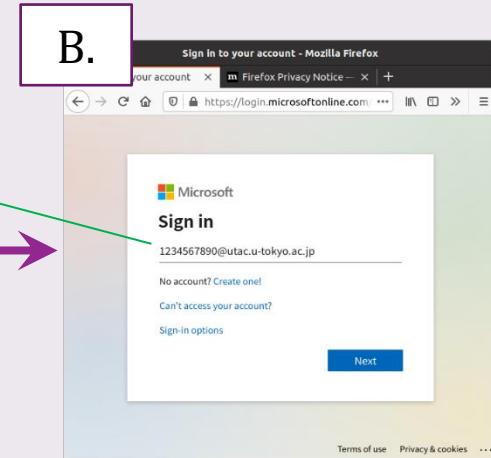
- ◆ 東大用Zoomページ <https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/profile> にアクセス

サインイン方法1: 流れ

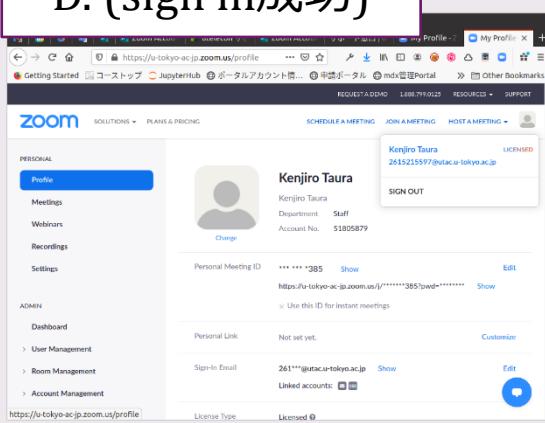
A. スタート

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/profile>

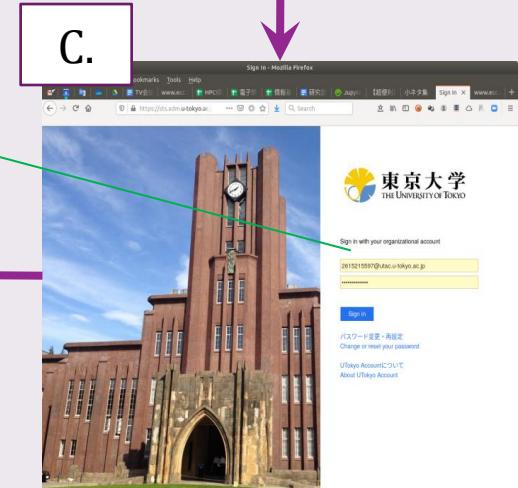
入力: ...@utac.u-tokyo.ac.jp
(所属組織を明示)



D. (sign in成功)



入力: UTokyo Account名、
パスワード

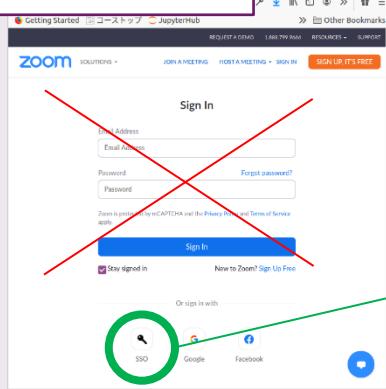


サインイン方法2

- ◆ Zoomページ <https://zoom.us/> (→必要ならばいったんsign out) → sign in → ページ下部SSOを選択
- ◆ 「会社のドメイン」に u-tokyo-ac-jp 入力

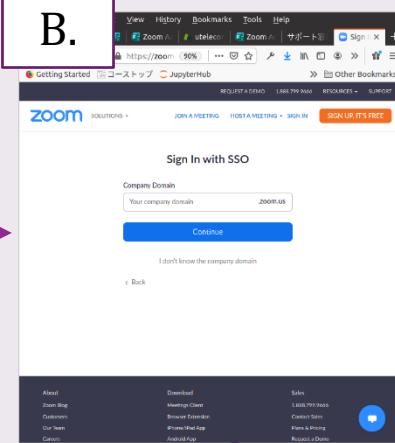
サインイン方法2: 流れ

A. スタート



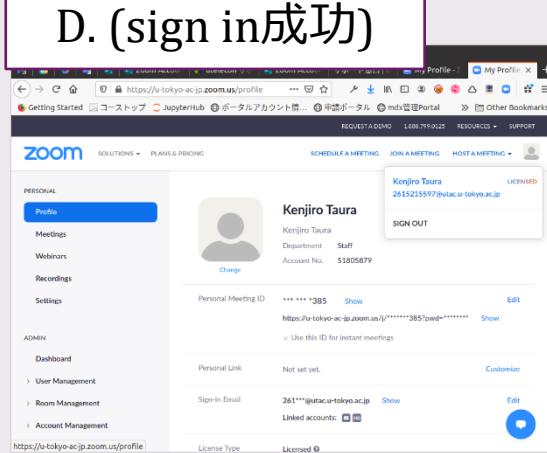
入力: 会社ドメインにu-tokyo-ac-jp
(所属組織を明示)

B.



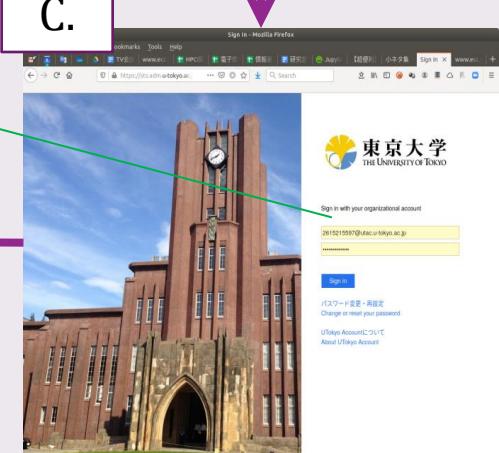
Zoom サインインページで
SSOボタンを押す

D. (sign in成功)



入力: UTokyo Account名、
パスワード

C.

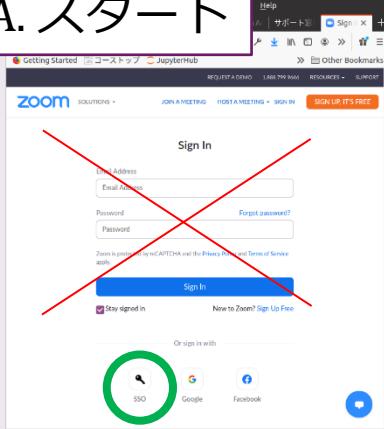


サインイン方法3

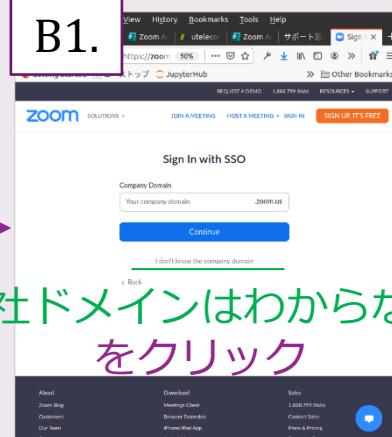
- ◆ 途中まで方法2と同じ
- ◆ 「会社のドメインを知らない」をクリック
- ◆ 「会社のEmail」に10桁@utac.u-tokyo.ac.jp

サインイン方法3: 流れ

A. スタート

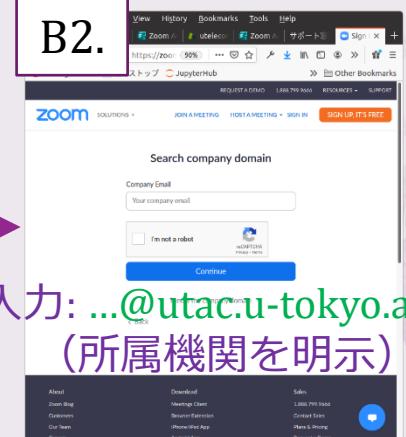


B1.



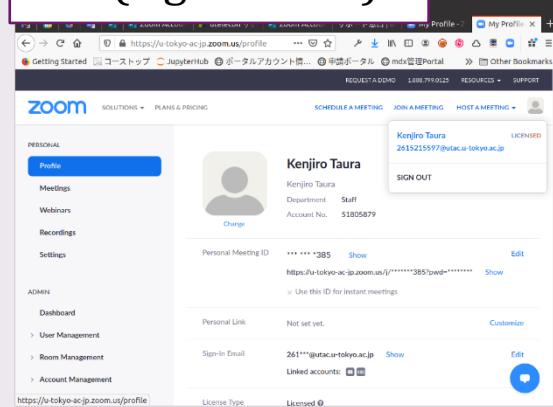
会社ドメインはわからない
をクリック

B2.



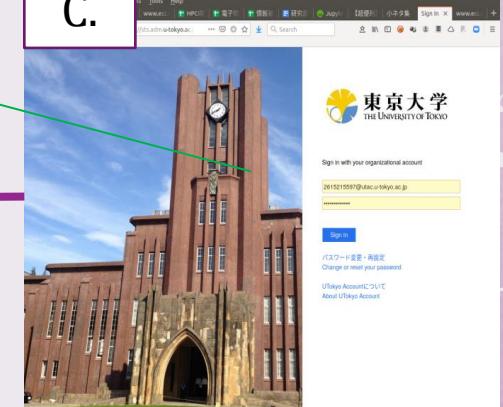
入力: ...@utac.u-tokyo.ac.jp
(所属機関を明示)

D. (sign in成功)



入力: UTokyo Account名、
パスワード

C.



まとめ

- ◆ どのやり方も「東大のアカウントを使う」ことをどこかで示したうえでUTokyo Accountを入力
- ◆ 結局以下のどれかは覚える・打つ羽目に
 - ◆ 方法1: URL = u-tokyo-ac-jp.zoom.us
 - ◆ 方法2: 会社のドメイン名 = u-tokyo-ac-jp
 - ◆ 方法3: ユーザ名 = 10桁@utac.u-tokyo.ac.jp
- ◆ 概念的には方法3が簡単
 - ◆ UTokyo Accountはどのみち覚える覚悟で
- ◆ 実践的には方法1が推奨
 - ◆ URLをbookmarkする

3/14の10桁@utacへの移行について

◆ 行われたこと

- (a) 10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jp → 10桁@utac.u-tokyo.ac.jp
- (b) それ以外 → そのまま

◆ 生じ得るトラブル

- (a) 移行される（た）ことをご存じなく、10桁@g.eccでサインインに失敗
- (b) 移行される（た）と思って、10桁@utacでサインインするが、SSOを使わずにサインイン失敗するか、SSOでサインインできるが以前の状態は引き継がれていない

トラブル(a)

- ◆ 10桁g.ecc.u-tokyo.ac.jp → 10桁@utac.u-tokyo.ac.jp と移行
- ◆ (a) この移行をご存じなく10桁@g.eccでサインインするも失敗
- ◆ 解決法
 - ◆ 10桁@utac でSSOを使ってサインイン

トラブル(b)

- ◆ 10桁@g.ecc以外 → そのまま（移行せず）
- ◆ 移行したと思って10桁@utacでサインイン
 - ◆ (b1) SSOを使わない→サインイン失敗
 - ◆ (b2) SSOを使う→サインインは成功、だがそれは新たなアカウントであり、以前の状態は引き継がれない
- ◆ 解決法
 - ◆ 個別に「10桁@g.ecc以外 → 10桁@utac」へ移行
 - ◆ そのためのフォームを作りますので都合の良い、早めのタイミングで移行してください

大規模会議、ウェビナーの運用 (割り当てポリシー)

- ◆ 大規模会議（300人超え）：授業に必要な先生のアカウントには常時割り当てる
 - ◆ 説明
- ◆ ウェビナー：必要なイベントに、必要な期間中のみ割り当てる
 - ◆ 説明

FAQ

- ◆ Zoomを授業以外のことにつけてもよいか?
 - ◆ 授業に限定していません
 - ◆ 本学の教育研究、本学構成員としての職務のためであればOK
 - ◆ 明文化された利用規定は今後
- ◆ 大規模会議ライセンスは授業以外にも割り当ててもらえるのか?
 - ◆ ウェビナー同様一時的に割り当てます
 - ◆ WebExの利用もご検討ください

WebEx





WebEx

◆ サインイン

- ◆ <https://utelecon.webex.com/>
- ◆ UTokyo AccountでSSO

◆ 機能

- ◆ WebEx Meeting (1000人まで) ≈ Zoom Meeting
- ◆ WebEx Events (1000人まで) ≈ Zoom Webinar

Web会議比較

	Zoom	WebEx	Meet	Teams
デフォルト収容人数	300	1000	100	300
国境問題	中国でアプリ提供停止		中国から 使えない	
E2E 暗号化		○		
同時に複数参加		○	○	○
待機室	○			○
手上げ	○	○		○
投票	○			

- ◆ 人数の大きい会議にはWebExもお考え下さい
- ◆ 機密性が重要な会議にもWebEx（Encrypted Meeting）をお考え下さい
- ◆ Google Meetは多数同時参加できるなどの特徴がありますが、近々録画のダウンロードなどができなくなる予定です <https://support.google.com/a/answer/10037875>